

泉の自治だより

題字 白石 聰

No. 112

発行所 泉町連合区
発行責任者 連合区会長 白石 聰
事務局 (泉公民館内)
土岐市泉中堂町 TEL 55-3653
編集部長 佐橋 敏彦



絵手紙水曜会
林 典子

『平成二十六年連合区要望事項』の6回質問の答え

泉町連合区会長 白石 聰

平成二十六年連合区要望事項につきましては、去る九月六日に市から回答書をお送りしました。回答の内容につきましては別記のとおりですが、今年度の主な要望は、「泉の自治だより」の九月号で説明しましたように、市が市営大徳原球場(仮称「泉認定子ども園」)の建設を計画していることに対する地元要望であります。

連合区及び泉公民館建設委員会(今後は新設の泉町公共施設等整備促進協議会)では、市に対して地元の意向を十分に尊重して対応して欲しいと協議を重ねて来ましたが、具体的な回答を得るに至っていない中、去る十月二日にセラトピア土岐で市主催による認定子ども園の建設計画に対する地元説明会が開催されました。

町民の皆さんからの主な意見としては、①一日三百台近い車が一定の時間集中して通行することに対する交通渋滞や交通事故などの不安を解消するため危険箇所や狭隘道路の拡幅や整備(道路の安全確保)、②大徳原球場の地元代替施設の整備(町民行事を含めた代替施設の確保)、③園が遠くなり車のない人の通園が困難となる(通園弱者対策)、余りにも大規模園となりすぎるのではないか(きめ細かな保育・幼児教育の確保)、④泉中学校の部活動対策(中学校の運動場が狭隘のため部活への影響)などの意見が出されました。

これらの意見について、町民の皆さんが納得の得られるよう今後とも市と継続的な協議を進めていきたいと思っておりますが、市は回答書に示されていますように「子ども園建設計画の動向を見守らせていただきます」という姿勢ではなく、市が「公立保育園再編計画」に基づき実施されようとしている建設計画であれば、町民の意見に対して納得が得られるような具体的な実効性のある提案をもつと出して戴き、地元と話し合いを重ねながら丁寧な説明責任を尽くして欲しいと思っております。そして、このように思いついた大事業の推進には、市と地元とが「呼喚同時」の意思疎通が必要であり、市は親鳥の気持で地元対応をして戴きたいと思っております。

泉町連合区要望事項に対する市からの回答

要望事項	担当課	回答
泉町認定子ども園建設計画	子育て支援課	泉町認定子ども園建設計画の動向を見守らせていただきます。泉認定子ども園の基本設計に際しては、認定子ども園だけでなく、他の施設も含めた配置の検討を進める予定です。
大徳原球場廃止・地元代替施設の整備	子育て支援課	市営敷島球場を再整備します。また、環境センターに隣接するグラウンドの整備を実施します。
大徳原球場周辺の道路及び環境の整備	子育て支援課	泉認定子ども園の整備で発生する交通集中により必要となる周辺道路の改良を実施します。また、園児保護者による自主的な交通ルールを定め、混雑防止や事故防止に努めます。
泉公民館の建設促進	子育て支援課	泉町認定子ども園建設計画の動向を見守らせていただきます。泉認定子ども園の開園後、泉公民館コンセプトの取りまとめ、建設の基本設計に着手したいと考えます。
泉児童センターの建設促進	子育て支援課	現在検討を進めています。「土岐市子ども子育て支援計画」作成のなかで、児童館の役割や整備について検討することになっております。この計画は平成27年3月に完成する見込みですので、それ以降に整備方針等をお示しする予定です。
国道19号線・池の上交差点他の道路建設	土木課	国道19号線・池の上交差点から中央自動車道新丸石橋間の道路建設については、今後も国と協議しながら検討させていただきます。
休日の一般家庭ごみ搬入日の増設	環境センター	休日の業務につきましては、祝日及び日曜日が祝日と重なった場合の振替休日に、収集並びに搬入受入を行っており、収集カレンダーにも、「※○△日は通常業務を行います」と掲載してあります。 更に搬入受入につきましては、原則として4月から10月の第1日曜日午前8時30分から午前11時までの間において、町内清掃等の受入れと同時に進めていますが、これは町内からの申請に基づき実施するものであり町内の都合により必ずしも第1日曜日に限らないため収集カレンダーには掲載できません。 なお、これらの日を除く休日に、毎月1回一般家庭ごみを搬入できる日を増設することは現在のところ考えておりません。
「陶祖碑」の移転	都市計画課 文化振興課	榎公園の管理者としては、地震による陶祖碑転倒の危険から公園利用者の身を守るため、転倒影響範囲への立ち入りを制限して、公園利用者の安全性を向上させることを検討しています。 美濃陶祖碑を織部の里公園へ移設してほしいとの要望ですが当該公園は文化財(国指定史跡元屋敷陶器窯跡)を保存活用するために整備された公園です。特定の個人を顕彰する目的の施設ではありませんので、織部の里公園に顕彰碑の設置はふさわしくないと考えます。
泉公民館に市広報の設置と支所便の巡回	秘書広報課 総務課	泉公民館において、市広報は既に設置済みです。 支所便は、市の兼務に係る申請書や証明書等、本庁と支所との間の書類受け渡しのため実施しております。支所便が毎月2回、公民館を経由することについては予定しておりません。

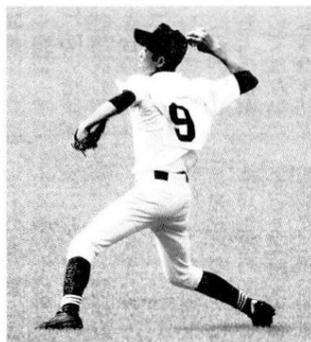
	8月28日										29日										30日										31日										計										
準決勝	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十	二十一	二十二	二十三	二十四	二十五	二十六	二十七	二十八	二十九	三十	三十一	三十二	三十三	三十四	三十五	三十六	三十七	三十八	三十九	四十	四十一	四十二	四十三	四十四	四十五	四十六	四十七	四十八	四十九	五十	
中京	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	33
崇徳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

31日

決勝	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
三浦学苑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中京	0	0	0	0	1	1	0	X	2	

泉中出身大島健太郎君が大活躍

第59回全国高校軟式野球選手権大会 中京高校 優勝(2年ぶり7回目)



八月二十五〜三十一日にかけて明石市で行われた高校軟式野球選手権大会において、東海地区代表の中京高校が準優勝で延長五十回に亘る球史に残る延長戦を勝ち抜き、同日行われた決勝においても見事勝利し、日本一に輝いたことは皆様まだ記憶に新しいことと思います。

この中京高校軟式野球部には、泉野球クラブ・泉中学校野球部出身の大島健太郎君も所属しており、この大会でも大活躍されましたが、当時の心境等について話を聞きました。

「県大会や東海大会はコールド勝ちや点差のついた試合でしたが、全国大会の準決勝でまさか五十回まで戦うとは思ってもなく予想外でした。延長の回数が進んでくるにつれ、ベチでは固まった表情の選手や『何でこんなにゼロが続く点が入らないのだろう』と口にする選手もいて、肉体的にも精神的にも非常に疲れました。特に守備の時、中京高校は先攻でサヨナラ負けの可能性も有り得るのでドキドキしていました。

この大会では、特に仲間の大切さ・信頼が非常に大切だと改めて感じました。野球は団体戦であり一人では戦えない。普段から仲間を信頼できるような生活をするよう努力をしています。

また、どんなスポーツでも同じですが練習では細かいことからやり続け、それを完璧になるまで繰り返し練習が大切だと感じました。

練習の時から一球一球の大切さや一点へのこだわりを意識する事が試合に生きてくると思います。」

- 一 火災に於ける消化活動及び残火処理
- 二 水防活動
- 三 救助活動(救急・救命・救助)
- 四 予防活動

日頃は、泉消防団活動にご協力ご理解を賜り厚く御礼申し上げます。

泉分団は、消防団の「意義と目的」である地域住民の最も身近な防災機関として市民の生命・身体・財産を保護するという崇高な目的を持った究極のボランティア団体であり、消防活動を行う権限と責任を有する非常勤特別職の地方公務員である自覚を持ち、分団長以下総勢五十二名・ポンプ車一台・電源照明付小型ポンプ車一台・小型ポンプ付積載車三台で、活動しております。

近年、各地で地震・水害など大規模な自然災害が頻発しています。又、今後、予想されています東南海地震などの災害に対し、消防団の活動が期待されるとしています。ここで土岐市消防団の役割を、ご紹介いたします。



「自らの地域は自ら守る」

土岐市消防団泉分団 分団長 河村 孝尚

消防団員は五十代から二十代前半までの人員で構成されており、人間形成の場であり自分を成長させる場だと思っております。

自治体(消防・警察)だけでは、地域密着の消防団活動を行うには人員が、不足しております。

消防団活動は、仕事との両立が難しいと思いますが、随時募集しておりますので町内でのご協力宜しくお願い致します。

頭は、泉消防団活動にご協力ご理解を賜り厚く御礼申し上げます。

泉分団は、消防団の「意義と目的」である地域住民の最も身近な防災機関として市民の生命・身体・財産を保護するという崇高な目的を持った究極のボランティア団体であり、消防活動を行う権限と責任を有する非常勤特別職の地方公務員である自覚を持ち、分団長以下総勢五十二名・ポンプ車一台・電源照明付小型ポンプ車一台・小型ポンプ付積載車三台で、活動しております。

近年、各地で地震・水害など大規模な自然災害が頻発しています。又、今後、予想されています東南海地震などの災害に対し、消防団の活動が期待されるとしています。ここで土岐市消防団の役割を、ご紹介いたします。

- 五 独居老人宅訪問(予防)活動
 - 六 国民保護法に係わる避難誘導活動
 - 七 地域コミュニケーション増進活動
- あちゆる活動を通して地域防災の向上を目指します。
- (土岐市消防団活動マニュアルより)
- 消防署指導の下、定期的に図上・放水・水防(土のう作り・堤防補強)・安全運転講習(緊急車両・自動車学校にて)・女性団員(桔梗班)中心に、AEDを使用しての救急・救命・救助・等専門的な講習、訓練を受けております。
- 泉分団の桔梗班は、家庭の主婦であり家事・仕事と大変な中、火事現場にも出動し、交通整理等、色々と若い団員をバックアップしてくれる頼もしい母親的存在です。
- 又、災害時や訓練時の安全、健康を、保つために消防団幹部は、S I I K・Y・T研修を、受けます。S I I K・Y・Tとは、消防団・危険予知訓練の略で、災害現場活動に従事する消防団員が安全確実に作業を行うため、現場に潜む危険と対策を話し合い、考え合い、分かち合って、安全を先取りするための訓練も受けおりゼロ災害を目指しております。

平成二十六年「市長と語る会」開催

去る十一月二十六日、泉町での「市長と語る会」が泉公民館で開催された。

現市長となつてから四回目となる今年度は約七十名の参加者があり、市長からは土岐市の現状、これまでの主要事業及び今後の主要事業について説明の後、参加者の質問に対する回答と説明があった。

質問は、「泉町認定こども園を大徳原球場に建設する計画について、駅前中心市街地及び市民病院の現状について等、いづれも泉町の将来にかかわる長期的課題に関するものであり、今後も引き続き市側の適切な対応が望まれる。議事録は土岐市ホームページで閲覧出来る。

- 団員一同、選ばれた人間であるという自覚と誇りをもって消防団活動を行っていきたいと思います。最後に、来年八月に行われる岐阜県自動車ポンプ操法大会に、土岐市消防団代表として出場いたします。半年間の練習を行い大会では、好成績を残したいと部長・専任・班長・団員・選手一丸となっております。ご声援お願いいたします。
- 活動状況(一部紹介)
- 三月三十日 土岐市消防団入団式
 - 四月 六日 建物火災(大島町)
 - 四月 十九日 陶器祭り警備
 - 五月十一日 河合地区 防災訓練
 - 六月 一日 報徳町 防災訓練
 - 六月 八日 水防訓練
 - 七月 五日 九万九千日祭り 警備
 - 七月 六日 上級救命講習
 - 七月 二十七日 土岐市花火大会 警備
 - 九月二十一日 泉町 図上訓練
 - 十月二十八日 泉北 防災訓練
 - 十月三十一日 消防学校
 - 十一月九日 S K Y T研修
 - 十一月九日 秋季火災予防運動
 - 十二月二十八日 年末夜警
 - 一月十一日 土岐市出初式
 - 二月 八日 県操法大会訓練

泉町公民館祭りチャリティーバザーのお礼

泉町連合区女性部

泉町の豊かな土で育てられたお米、野菜類などの野外での産直販売。屋内ホールでは、他での活用を求めて提供された善意の品々。チャリティーバザーは大盛況の内に終了することができました。ご提供頂いた方々、お買い求め下さった方々、本当にありがとうございました。

260,185円の売り上げがありました。公民館活動・女性部活動・そして東日本大震災復興支援などに大切に遣わせて頂きます。